

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 6 部門第 3 区分

【発行日】平成24年10月4日 (2012.10.4)

【公開番号】特開2011-60009(P2011-60009A)

【公開日】平成23年3月24日 (2011.3.24)

【年通号数】公開・登録公報2011-012

【出願番号】特願2009-209268(P2009-209268)

【国際特許分類】

G 0 7 D 9/00 (2006.01)

【 F I 】

G 0 7 D 9/00 4 5 6 A

G 0 7 D 9/00 A

G 0 7 D 9/00 4 0 1 F

【手続補正書】

【提出日】平成24年8月20日 (2012.8.20)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

入金したバラ貨幣を収納するバラ貨幣収納部と、
前記バラ貨幣収納部から繰り出されたバラ貨幣を結束又は包装する結束包装部と、
前記バラ貨幣収納部の現在収納枚数が開始閾値に到達した場合、前記バラ貨幣収納部に
収納された前記バラ貨幣の結束又は包装を開始すべく、前記結束包装部を駆動制御する駆
動制御部と、

所定条件に応じて、前記開始閾値を設定変更する制御部と
を有することを特徴とする貨幣処理装置。

【請求項 2】

前記駆動制御部は、
前記バラ貨幣収納部の現在収納枚数が終了閾値未満となった場合、前記バラ貨幣収納部
に収納された前記バラ貨幣の結束又は包装を終了すべく、前記結束包装部を停止制御し、
前記制御部は、
前記所定条件に応じて、前記終了閾値を設定変更することを特徴とする請求項 1 記載の
貨幣処理装置。

【請求項 3】

前記制御部は、
前記結束包装部にて結束又は包装した結束又は包装貨幣の回収を要求する前記所定条件
を検出すると、前記バラ貨幣収納部に収納されたバラ貨幣の現在収納枚数を減らすべく、
前記開始閾値を減少方向に設定することを特徴とする請求項 1 又は 2 記載の貨幣処理装置
。

【請求項 4】

前記制御部は、
前記バラ貨幣の回収を要求する前記所定条件を検出すると、前記バラ貨幣収納部に収納
されたバラ貨幣の現在収納枚数を増やすべく、前記開始閾値を増加方向に設定することを
特徴とする請求項 1 又は 2 記載の貨幣処理装置。

【請求項 5】

前記制御部は、

店舗内の全バラ貨幣の保有量を管理する管理装置と接続し、前記管理装置で管理する全バラ貨幣の保有量に基づき、前記開始閾値を設定変更することを特徴とする請求項１～４の何れか一つに記載の貨幣処理装置。

【請求項６】

入金したバラ貨幣をバラ貨幣収納部に収納する収納ステップと、

前記バラ貨幣収納部から繰り出されるバラ貨幣を結束又は包装する結束包装ステップと

、
前記バラ貨幣収納部の現在収納枚数が開始閾値に到達した場合、前記バラ貨幣収納部に収納された前記バラ貨幣の結束又は包装を開始する駆動制御ステップと、

所定条件に応じて、前記開始閾値を設定変更する制御ステップと
を含むことを特徴とする貨幣処理方法。

【手続補正２】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】００１６

【補正方法】変更

【補正の内容】

【００１６】

また、本発明の貨幣処理装置は、上記発明の構成において、前記制御部は、前記結束包装部にて結束又は包装した結束又は包装貨幣の回収を要求する前記所定条件を検出すると、前記バラ貨幣収納部に収納されたバラ貨幣の現在収納枚数を減らすべく、前記開始閾値を減少方向に設定するようにした。

【手続補正３】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】００１７

【補正方法】変更

【補正の内容】

【００１７】

また、本発明の貨幣処理装置は、上記発明の構成において、前記制御部は、前記バラ貨幣の回収を要求する前記所定条件を検出すると、前記バラ貨幣収納部に収納されたバラ貨幣の現在収納枚数を増やすべく、前記開始閾値を増加方向に設定するようにした。

【手続補正４】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】００２２

【補正方法】変更

【補正の内容】

【００２２】

また、本発明の貨幣処理装置では、上記発明の効果に加えて、結束又は包装した結束又は包装貨幣の回収を要求する所定条件を検出すると、バラ貨幣の現在収納枚数を減らすべく、開始閾値を減少方向に設定する。その結果、本発明では、バラ貨幣を結束する機会が増えて、紙幣回収時の回収対象である結束又は包装した結束又は包装貨幣を大量に確保できるという効果を奏する。

【手続補正５】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】００２３

【補正方法】変更

【補正の内容】

【００２３】

また、本発明の貨幣処理装置では、上記発明の効果に加えて、バラ貨幣の回収を要求する所定条件を検出すると、バラ貨幣の現在収納枚数を増やすべく、開始閾値を増加方向に

設定する。その結果、本発明では、バラ貨幣を包装する機会が減って、貨幣回収時の回収対象であるバラ貨幣を大量に確保できるという効果を奏する。